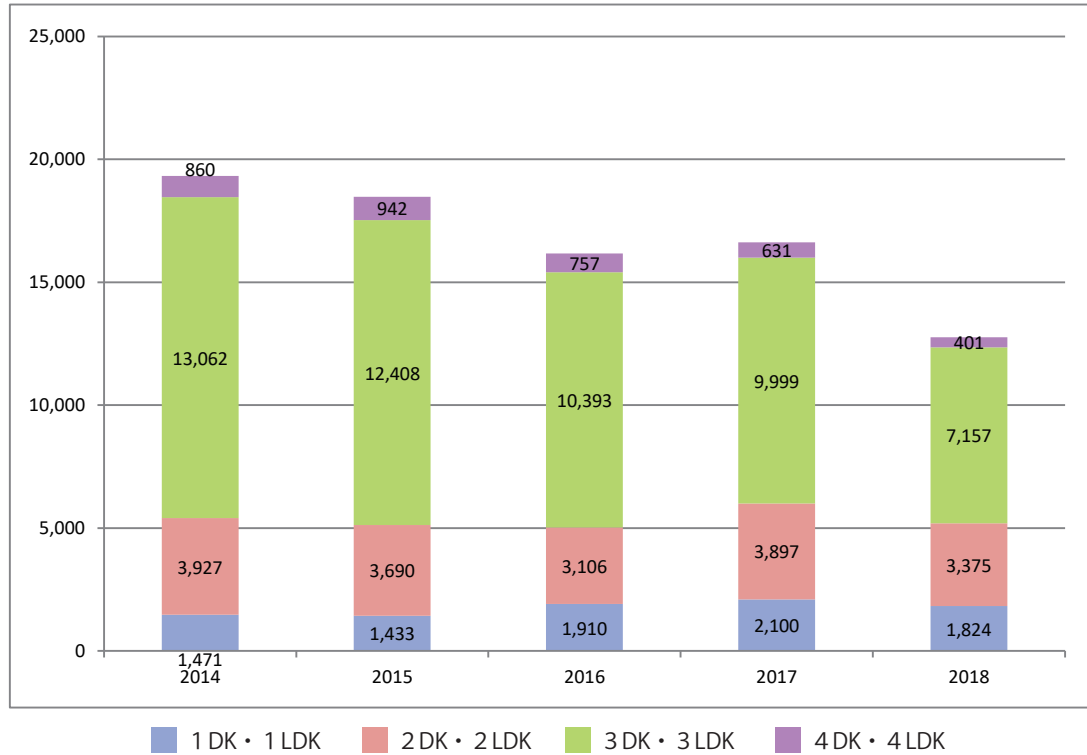


東京23区

間取別供給戸数

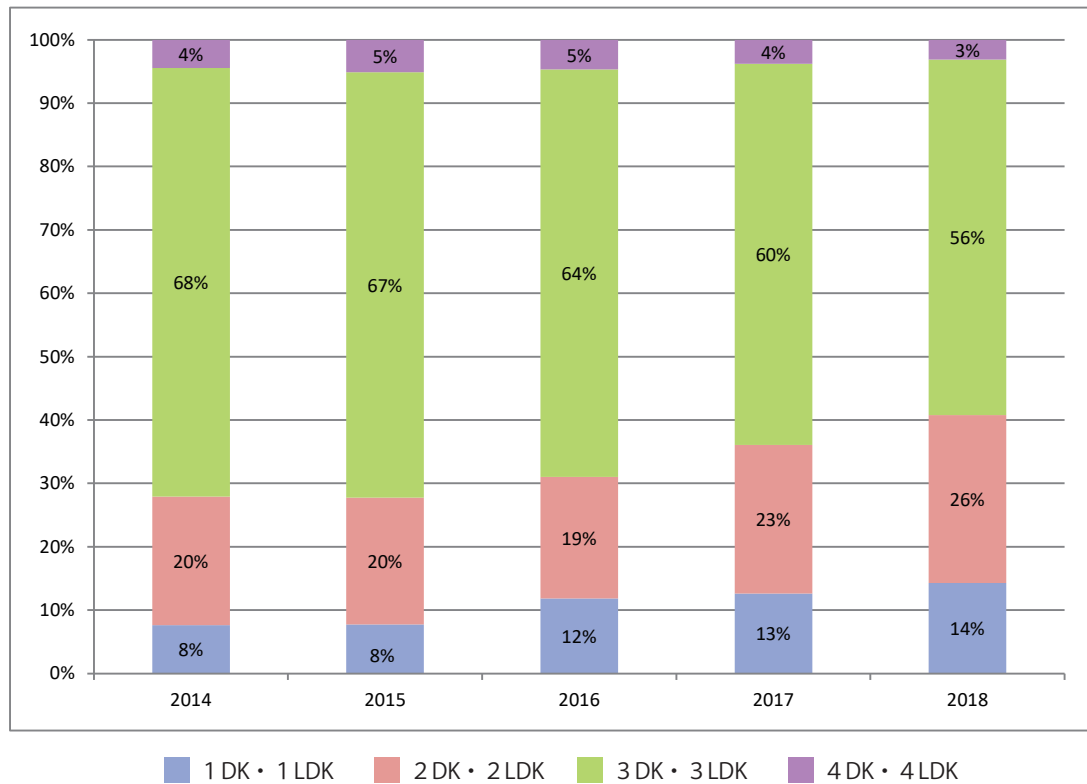


このレポートは、2014年1月から2018年12月までの過去5年間における首都圏1都3県で発売された新築マンションを対象に、間取別・面積帯別の供給推移や構成比率をエリア別に比較したレポートになります。こちらでは東京23区について報告いたします。そのほかの地域については別紙を御覧ください。

供給戸数は年々減少しつつコンパクト化

間取別供給戸数のグラフより、東京23区の供給戸数は2014年の19,320戸をピークに減少し、2018年は12,757戸にまで減少している。間取で言えば3DK・3LDK～4DK・4LDKの間取帯が供給ピークだった2014年と比較すると54%まで落ちているが1DK・1LDK～2DK・2LDKの間取帯はほぼ横ばいとなっており、コンパクトな間取傾向に推移しているのが分かる。

間取別構成比



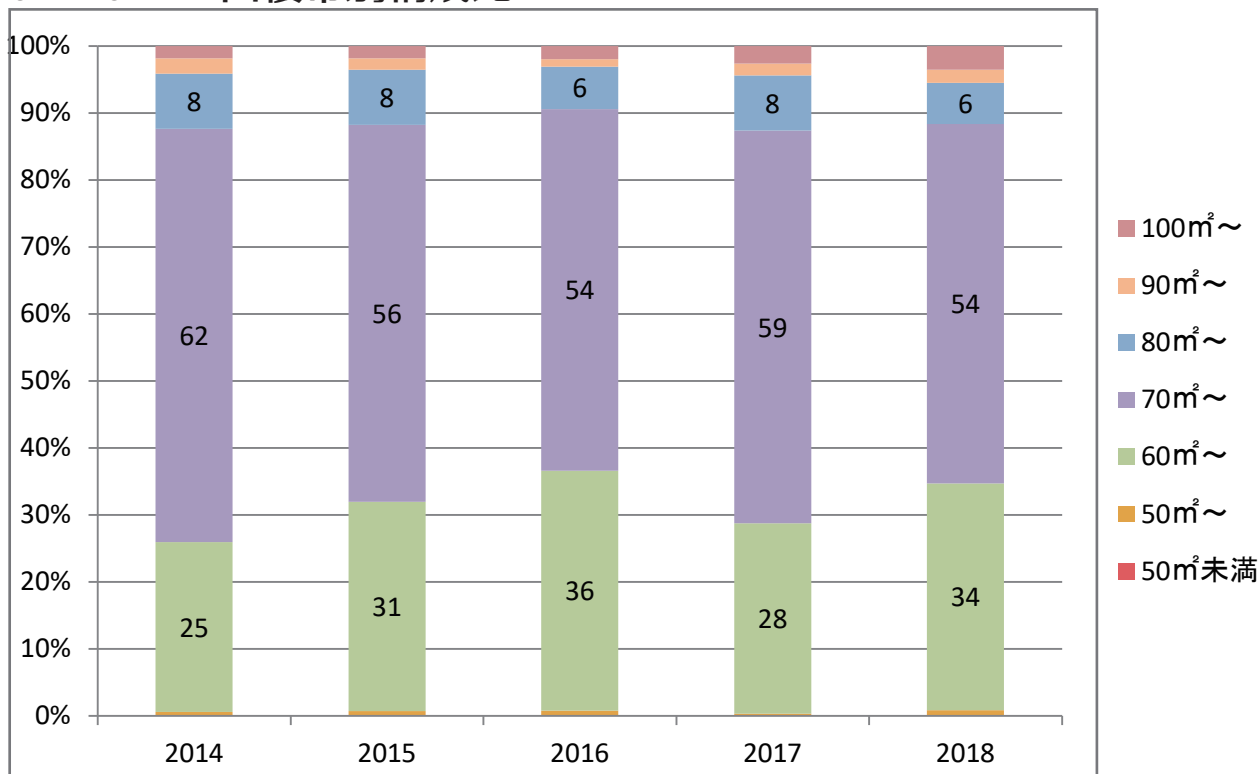
間取構成の4割が2DK・2LDK以下に

間取別構成比のグラフからは東京23区において、よりコンパクトな間取傾向が際立っている。3DK・3LDKの間取帯の割合が2014年以降徐々に減少、その分1DK・1LDK～2DK・2LDKの間取帯が増加しており、2018年ではその割合が40%になっているのが分かる。

3DK・3LDKは変わらず70㎡台中心

3DK・3LDK面積帯別構成比のグラフを見ると、2014年と2018年を比較すると70㎡台は6%下がり、60㎡台が9%上がっているが、2018年の面積帯別構成比は2016年のものと酷似している。間取別平均面積の表では3DK・3LDKは73㎡とほぼ横ばいの数値推移となった。

3DK・3LDK 面積帯別構成比



間取別平均面積 (㎡)

	2014	2015	2016	2017	2018	全体
1DK・1LDK	42.22	41.58	39.16	40.04	38.58	40.32
2DK・2LDK	59.69	59.25	58.43	59.69	58.59	59.13
3DK・3LDK	73.31	73.00	72.23	73.33	73.14	73.00
4DK・4LDK	85.31	84.79	85.31	85.49	83.64	84.91
全体	65.13	64.66	63.78	64.64	63.49	64.34

■データについて ※マンションサマリ調べ
 ・2014年～2018年に販売された新築マンションデータ
 ・投資用物件、タウンハウス、コーポラティブハウスを除く
 ・1K・1Rを除く